

【種類別明細書の記入例】 前年中に取得した資産（増加資産・全資産）

※黒ボールペンで記入してください。

※今回、初めて申告していただく方は、令和7年1月1日現在所有している全資産を記入してください。

※この種類別明細書（増加資産・全資産）は、申告書と一緒に提出してください。  
増加した資産が種類別明細書（一覧表）の空いている行に記載できた場合はこの種類別明細書（増加資産・全資産）は不要です。

○資産の種類

- 1 構築物
- 2 機械及び装置
- 3 船舶
- 4 航空機
- 5 車両及び運搬具
- 6 工具、器具及び備品

のそれぞれ該当するものの数字を記入してください。

令和7年度		種類別明細書(増加資産・全資産用)											
申告年度を記入してください。		所有者氏名 氏名又は名称を記入してください。		提出用									
所有権コード 住民コード		株式会社 小諸市役所工業		3枚のうち 2枚目									
行番	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月 年 月 日	取得価額 円	耐用年数	減価償却率	償却額	残存率	備考	摘要		
01	1	駐車場アスファルト舗装	1	4 28 9	700,000	10					○		
02	1	フェンス	1	4 29 2	400,000	10					○		
03	2	太陽光発電設備 A	1	4 30 3	15,000,000	17					○		
04	2	太陽光発電施設 B	1	5 2 8	9,000,000	17					○		
05	6	パソコン	2	5 1 7	400,000	4					○		
06	6	事務机	3	4 30 6	300,000	15					○		
07											○		
08											○		
09											○		
10											○		
11											○		
12											○		
13											○		
14											○		
15											○		
小 計													

○摘要

- ・課税標準の特例がある資産については「特例」と記入してください。
- ・その他、該当資産の価額の決定にあたって必要な事項があれば記入してください。

○増加事由

資産が増加したことの事由について下記を参考に該当する番号に○をしてください。

- 1、新品取得
- 2、中古品取得
- 3、移動による受け入れ
- 4、その他

○耐用年数

「減価償却資産の耐用年数等に関する省令別表」を参考に、耐用年数を記入してください。

○資産コード

記入する必要はありません。なお、各事業所独自の番号や記号を付けていて必要である場合には8字以内で記入してください。

○資産の名称等

品名、規格、型式等を30字以内で記入してください。20字を超える場合、下の段に続けて記入してください。

○数量

- ・個数、面積、距離等を記入してください。
- ・単位は省略し数字のみ記入してください。

○取得年月

- ・資産を取得(購入、製作)した年月を記入してください。
- ※月日ではないのでご注意ください。
- 年号は下記を参考に番号を記入してください。
- 1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 平成 5. 令和

○取得価額

- ・資産を取得するために要した金額を記入してください。
- (引取運賃、荷役費、手数料等含む)
- ・圧縮記帳は地方税法上では認められないので、圧縮前の取得価額を記入してください。

※減価残存率から課税標準額は記入する必要はありません。